

# 春秋会

ニュースレター

2024.12

## 地引網・BBQイベントのご報告

親睦委員会 松田七海（76期）

令和6年11月16日、親睦企画の「岡田浦地引き網イベント」が開催されました。開催場所は、岡田浦漁協砂浜会場で、南海電車岡田浦駅から徒歩15分ほどです。家族で参加して下さった方が大変多く、小学生以下の参加者もたくさんいました。実際、イベントに単身乗り込んだ身としては、なるほど、子どもにとってはすごく楽しいイベントだなと感じました。まあ、大人が単身で乗り込んでもそれはそれで大変楽しかったですし、何名か子どもよりもはしゃいでいる大人もいらっしゃいました。では、詳細を報告いたします。

地引き網イベントは、地引き網とその後に海辺で行うBBQとの2本立てのイベントです。

まず、地引き網パートについてですが、岡田浦漁協の方が沖で仕込んでおいてくれた網2本を、地引き網ポイントまで船で届けてくださいます。（砂浜の近くは海が浅いので小さな船2隻がそれぞれ網を持ってきてくださいます。）



### 今月の予定

・12/20（金）18:00

春秋会 12月総会



そして、届いた網2本を、「大阪側チーム」と「和歌山側チーム」に分かれて引っ張ります。この網を引く作業、恐らく先頭側の方はかなり力を入れて引っ張る必要があります。が、一方で後ろの方は引く、というよりは、「なんかヒモを後ろに送る作業」になってしまいます。前の頑張りなど知らぬままに、後ろの方が本当に引けているのか？と思っていますと、突然動いていたヒモが止まってどうやら終わった様子。本当に引けてたんや…とか考えていると、次のイベントが発生します。

網の中に入っていた魚たちを大きな水槽の中に入れて、触ったり、見たりすることができるのです。その中には、なぜかサメとエイもかかっています。タコもたくさんいます。あまりに立派な鯛がウロウロ泳いでいます。私達は貴重な海の資源を乱獲してしまったのかもしれない。

## 2024 年度 広報委員

- ・河野雄介（60期、委員長）
- ・小野順子（57期、担当副幹事長）
- ・西原和彦（55期）
- ・堀川智子（57期）
- ・溝上絢子（57期）
- ・浦寛幸（59期）
- ・松尾洋輔（59期）
- ・広瀬元太郎（60期）
- ・柳勝久（61期）
- ・山田寛子（65期）
- ・金星姫（66期）
- ・木場晶子（67期）
- ・田村瞳（67期）
- ・板崎遼（67期）
- ・吉留慧（68期）
- ・高一成（69期）
- ・根本俊太郎（70期）
- ・足立敦史（71期）
- ・村本健司（71期）
- ・河野哲平（71期）
- ・才木晴幹（72期）
- ・中岡さつき（72期）
- ・中西教子（72期）
- ・久井大輝（73期）
- ・佐々木崇人（74期）
- ・神澤鈴子（74期）
- ・今野敬文（76期）
- ・小林悠人（76期）
- ・永田駿（76期）
- ・山口謙都（76期）

水槽の中の魚たちは当然生きていますので、迫力が違います。最初からガンガン触る子もいる中、哺乳類とは全く違う造形の生き物に怯えて触れない子達もいました。しかし、何故かすごくはしゃいで我先にエイを引っ張りあげ、サメを掴んでいる大人（かなり“大人”）や、タコを素手でぐっと掴みあげる大人（かなり“大人”）の存在により、「触っても大丈夫なんだな…」という気持ち芽生えたのか、恐る恐る少しずつ触る、なでるといったことをするようになりました。また、準備のよいグループになると、透明の小さな水槽をご持参されており、そこに魚を移してまじまじと観察するという素敵なことをされていました。



ある程度魚たちを観察すると、今回は食べないサメとエイには大自然の元へ帰ってもらい、その他の魚と共にBBQ場へ移動します。人間に触られまくっていたサメとエイですが、今も南港あたりを生き抜いてくれていることでしょう…。

海鮮BBQは何もかもが準備されています。立派なホタテやエビ、野菜といったBBQの材料は既にご下処理がされていますし、炭の火起こしも終わっていました。たこ飯や焼きそば、唐揚げやポテトフライといったサイドメニューも充実のラインナップで準備されていますし、かき氷器もあります。まさに手ぶらで手軽にできるBBQです。

そして、ついさっき網で引いた魚たちをその場で捌いたお刺身もあります。親睦委員長がどうしても食べたかったお刺身ですね。



BBQもサイドメニューも美味しいのですが、やはりさっき採れたばかりの魚を捌いたお刺身は大変美味しかったです。今後も地引き網企画をする際は是非お刺身をご検討ください。



そんなこんなで地引き網を引き、魚を触って観察し、楽しくBBQをして、一部の大人は昼からお酒を飲み…大変充実した休日となりました。準備していただいた先生方には誠に感謝申し上げます。

生きている魚に触れる機会ですし、BBQの面倒な部分は全てやらなくてもいい天国のようなBBQもできますので、本当に楽しいです。家族連れでも大人単独でも、参加するととても素敵な時間となるので、もし地引き網イベントを再び親睦委員会が企画した際には、皆様奮ってご参加ください。



地引き網に限らず、できるだけ多くの方が気軽に楽しい時間を過ごしていただけるよう、親睦委員会一同で励んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 親会若手会合同ゴルフコンペを開催しました

西 祐亮（71期）

11月9日（土）、新宝塚カントリークラブにおいて、親会若手会合同ゴルフコンペが開催されました。これまでの春秋ゴルフは、私も含め若手会の会員はあまり参加しない傾向にあったところ、今回のコンペは、若手会に予算をつけてもらい、若手会とのコラボ企画とすることで、若手会の会員が参加しやすい形で実施する運びとなりました。その結果、13名もの若手会会員に参加いただき、計35名、9組からなる大型コンペとなりました。

事前の天気予報では雨も心配されましたが、当日はスコアを天候のせいにするができないベストな環境でプレーすることができました。コースはグリーンが難しい他、谷越えが求められるパー3など、戦略性に富んだものであり、グロス（ハンディキャップを入れない総スコア）で100切りを達成した参加者は6名のみでした。

今回は、初心者である若手会員も楽しくプレーできるよう、初心者に優しい気持ちをもってプレーいただく他、ハンディキャップはWペリア方式という方式で算定されましたので、グロスがよくなっても一発逆転が狙えるルールが採用されました。実際、2位の方はグロス120台でしたが、堂々の2位入賞となりました。その中、優勝の栄冠を手にしたのは、幹事も引き受けていただきました山口昌之会員でした。山口昌之会員はグロスも86でトップでしたので、文句なしの完全優勝となりました。

コンペ後には、場所を移動し、和食鍋処すし半川西店にて懇親会も実施しました。懇親会では、当日のプレーの感想を語り合ったり、日ごろの仕事に関する話を聞いたりするなどして、懇親を深めることができました。



ゴルフで性格や人間性が出るなどと言われますが、今回参加させていただき、一緒させていただきました先生方には優しくしていただき、楽しくプレーをすることができました。参加いただいた若手会員からの評判も上々でしたので、来年も開催できるよう、来年

の若手会世話役をお願いしたいと思いました。ゴルフは一応やっているけれども、春秋ゴルフに参加するのはハードルが高いと感じている方も多いと思いますが、まずは、来年の親会若手会合同ゴルフコンペに参加してみたいかでしょうか。来年は今年以上に参加者が増えることを楽しみにしています。



執行部をしておりますと、春秋会や弁護士会の行事に参加する機会が多くあります。

有意義な企画が多く、参加して良かったという感想に至るのですが、他方、例えば全員参加とすると負担も大きく、今後になっていただく方々のことも考え、執行部内でほど良く分担しながら参加をするように工夫しております。次年度以降も参考にさせていただけたらと思います。

既に、先月号のニューズレターでも紹介があったのですが、私が参加した大阪弁護士会運動会が印象に残っていますので、あらためて紹介させていただきます。



当日は、前日の荒天から一変し、見事な晴天に恵まれました。当日まで知らなかったのですが、司会の一人は「おはよう朝日です」などの出演で知る人ぞ知る「やのぱん」が担当でした（写真添付）。地方ローカル番組での出演のタレントさんですが、さすが場数を踏んでいるためか、飽きさせない司会ぶりでしたと思います。

高校時代は50メートル走6.0秒の俊足だったのですが、近年はジョギング専門でダッシュするようなことは皆無の

ため、令和4年に会派対抗リレーの出場しようとしたときには、ウォーミングアップ中に派手な肉離れをして、一日中会場にいたにもかかわらず、何も参加しないで帰宅しました。今年はその経験を活かし、リレーへの参加は見送り、会派対抗種目の出場者確保役に徹しました。参加いただいた方々ありがとうございます。終盤の種目に腕にマグネットで見立てたボールを装着し、チャンバラで闘うという「SAMURAI」なる種目がありました。出場種目を終えると帰られた方もあり、当春秋会は、かわいいお子さん方を主力として挑む

という人員構成になり、私自身も出場が必要な状況となりました。

一応、幹事長という立場であるために、「大将」という役割を担わせていただきました。大将たる私の命がある限りチームは存続、失うと敗退となります。合戦が開始されると、かわいい侍たちが私を



守ってくれました（写真添付）。若い侍たちに他会派はおそれをなしたのか（遠慮したのか）、春秋会に闘いを挑んでくるチームはほとんどなく、我がチームは長く生き残っていました。誰かに守ってもらっているというのは、なんとも心地よく、私は幸せな時間を過ごしました。後半となり、我がチームのかわいい侍に対し、空気を読まない裁判所チームの武者の急突進があり、我が侍たちをかわし、残念ながら私の命は潰えてしまいました。しかし、ベスト3には入らなかったものの、健闘したと言えます。

最後には恒例の抽選会があり、春秋会でも家族で2名当選という幸運に恵まれた方もいらっしゃいました。

楽しい一日を過ごすことが出来、実行委員会委員を引き受けていただいた方々にも感謝したいと思います。



## あとがき

---

広報委員会では、会員の皆様から原稿を大募集します。ぜひ、ご連絡ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

などありましたら、以下のアドレスにご連絡ください。

広報委員長 河野雄介 [y.kono@swlaw.jp](mailto:y.kono@swlaw.jp)